

2020年度入学生 理学療法学科 カリキュラム・フロー

必修科目：
選択科目：

理学療法学科DP	評価の観点	1年次		2年次		3年次		4年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1. コミュニケーション力 論理的な思考力、記述力、発表と議論の能力を有し、他者と適切なコミュニケーションを取ることができる。	[日本語力]	日本語表現法Ⅰ（作文、論文）（1）	日本語表現法Ⅱ（読解、分析）（1）	日本語表現法Ⅲ（発表、討論）（1）					
	[外国語力]	英語Ⅰ（基礎）（1）	英語Ⅱ（応用）（1）	英語Ⅲ（実践）（1）	英語コミュニケーション（1）				
	[自己表現、意見交換、調整力]	フレッシュマンセミナー（1）	プロジェクトスキルⅠ（1）	プロジェクトスキルⅡ（1） 日本語表現法Ⅲ（発表、討論）（1）				チーム医療論（1）	
2. 課題を発見し、問題を解決する力 現状を分析し、課題を明らかにした上で、科学的思考に基づいて解決へ向けて取り組むことができる。	[数学・自然科学の基礎的な知識と能力]	基礎数学（1） 基礎物理学（1） 基礎生物学（1）	基礎化学（1）	統計分析法（1）					
	[情報リテラシー]	情報処理法（1）	情報管理法（1）						
	[論理的思考力、問題解決力]		日本語表現法Ⅱ（読解、分析）（1） プロジェクトスキルⅠ（1）	プロジェクトスキルⅡ（1）		理学療法学研究法（2）		チーム医療論（1）	
	[自己管理能力、自己実現力]	体育実技Ⅰ（1） フレッシュマンセミナー（1）	体育実技Ⅱ（1）		自己管理と社会規範（1）				
3. 自らを律し、学び続ける力 目標達成のための計画を立案・遂行できる能力を有し、社会のニーズ及び医療の進歩に対応するために、自己研鑽を継続できる。	[知的好奇心]	フレッシュマンセミナー（1）							

理学療法学科DP	評価の観点	1年次		2年次		3年次		4年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
4. 他者と協力して目的を達成する力 文化・社会の多様性を理解できる幅広い教養と豊かな人間性を有し、他者と協力して前向きに目標を達成することができる。	[社会的責任と倫理]				自己管理と社会規範 (1) 生命倫理学 (1)		地域活動と社会貢献 (1)		
	[チームワーク、リーダーシップ]	体育実技 I (1)	体育実技 II (1) プロジェクトスキル I (1) リハビリテーション概論 (1)	日本語表現法 III (発表、討論) (1) プロジェクトスキル II (1)		他者理解と信頼関係 (1)		チーム医療論 (1)	
	[人類の文化、社会と自然、多様性の理解]	人間の理解 I (健康と運動) (2) 社会の理解 I (自然と環境) (2) 基礎数学 (1) 基礎物理学 (1) 基礎生物学 (1)	人間の理解 II (民族と宗教) (2) 社会の理解 II (政治と経済) (2) 基礎化学 (1)	人間の理解 III (歴史と文化) (2) 社会の理解 III (国際と平和) (2)	人間の理解 IV (心理と行動) (2) 社会の理解 IV (法律と人権) (2)				

理学療法学科DP	評価の観点	1年次		2年次		3年次		4年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
5. 専門的知識・技能を習得し、実践する力 理学療法学分野に関する基礎的な知識及び技術を活用できる能力を有し、安全に理学療法を実施することができる。	[専門基礎力]	解剖学Ⅰ(2)	解剖学Ⅱ(2) 解剖学演習(1)	病理学(2) 整形外科学(2)	内部障害学(2) 一般臨床医学(1) 神経障害学(2) 精神医学(2) 生命倫理学(1) 病態運動分析学演習(2)	小児科学(1) 画像診断学(1) 臨床心理学(1)	薬理学(1) 予防と介護(1) 公衆衛生学(1) 看護学概論(1)		
		生理学Ⅰ(2)	生理学Ⅱ(2) 生理学演習(1)	人間発達学(1)					
			運動学(2)	運動学演習Ⅰ(1) 運動学演習Ⅱ(1)					
		理学療法概論(2)	リハビリテーション概論(1) リハビリテーション医学(1)	地域理学療法学(1)		小児理学療法学(2) 義肢装具学(2)	高齢者理学療法学(1) 生活支援理学療法学演習(1) リハビリテーション工学演習(1) 急性期理学療法学(1) スポーツ理学療法学(1) 高次脳機能障害学(1) 義肢装具学演習(1)		理学療法管理学(2)

理学療法学科DP	評価の観点	1年次		2年次		3年次		4年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
5. 専門的知識・技能を習得し、実践する力 理学療法学分野に関する基礎的な知識及び技術を活用できる能力を有し、安全に理学療法を実施することができる。	[専門応用力]			理学療法基礎評価学演習(2)	運動器系理学療法評価学演習(1) 中枢神経系理学療法評価学演習(1) 内部系理学療法評価学演習(1)	理学療法評価学総合演習(1)			
				運動療法学演習(2)	物理療法学(2) 日常生活活動学演習I(1)	物理療法学演習(1) 日常生活活動学演習II(1) 運動器系理学療法学演習I(1) 中枢神経系理学療法学演習I(1) 内部系理学療法学演習I(1)	理学療法治療学総合演習(1) 運動器系理学療法学演習II(1) 中枢神経系理学療法学演習II(1) 内部系理学療法学演習II(1)		
			理学療法臨床見学実習(1)		地域理学療法学臨床実習(1)		理学療法評価学臨床実習(6)	理学療法総合臨床実習I(6) 理学療法総合臨床実習II(6)	
						理学療法学研究法(2)		理学療法学総論(1)	総合理学療法演習(1)
6. 総合力 基盤能力と専門知識・技術を総合的に活用し、社会の変化に応じて理学療法をより学際的に発展させ地域社会の発展に貢献できる。								卒業研究(4) チーム医療論(1)	